

防災図画表彰－11月28日（火）

海部南部消防組合主催の防災図画優秀賞の表彰伝達を行いました。受賞者の喜びの声を紹介します。下は人権集会の「十西小盛りあげ隊」の発表の様子です。



1年 女子

おとうさんがしょうぼうしをしているから、かこうとおもいました。火はあかいろだけではなく、おれんじやきいろもつかいました。火のかおは、むむっとおこっているかおにしました。えらばれてうれしかったです。



2年 女子

わたしは、ぼうさい図画のポスターをかくときに、一ばんむずかしかったことは、えのぐでこまかいところをぬるところでした。でも、がんばって色をきれいにぬれてよかったです。



3年 女子

わたしがかいた防災図画で、一番がんばったことは、色ぬりです。理由は、色がまざったり、絵の具がとんだりしたからです。これからも、ひょうしょうされるような絵をかきたいです。



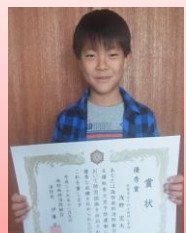
4年 男子

ぼくは、絵をかくとき、はじめは何をかくか、何もひらめきませんでした。けれど、消防しょの電話番号が119だと分かり、うまくいろをぬれました。えらばれて、とてもうれしかったです。



5年 男子

防災図画は、なるべく目立つように、目にとまるようにしなければいけないと思い、絵や文字を大きくしました。また、きき感を出すため、色もこくしました。優秀賞だと聞いて、とてもうれしかったです。



6年 男子

ぼくは、防災図画を心の準備と物の準備が大切だということを知ってもらえるようにかきました。いざとなったら、かいちゅう電とうなどの物をもって、心の準備をしてひなんしたいと思います。

